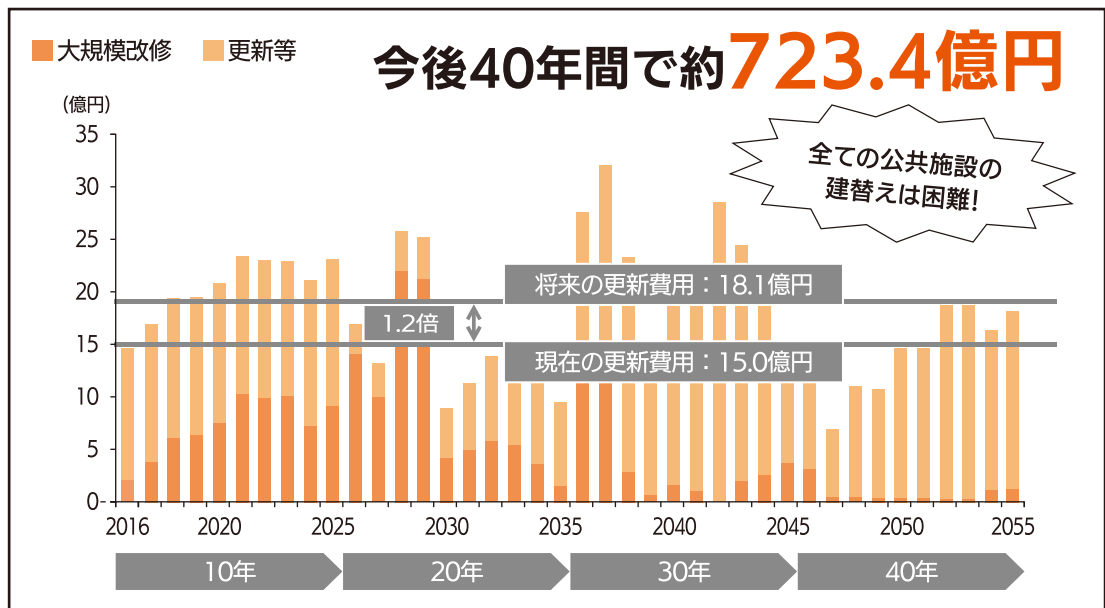


公共施設の改修・更新費用の見通しは？

老朽化した施設は、改修や更新（建替え）が必要です。

市が2年前に試算した結果では、現状の建物数をそのまま維持した場合、今後40年で必要となる費用は1年あたり約18億円となりました。これは、過去5年の平均より約3億円も高くなる予想です。



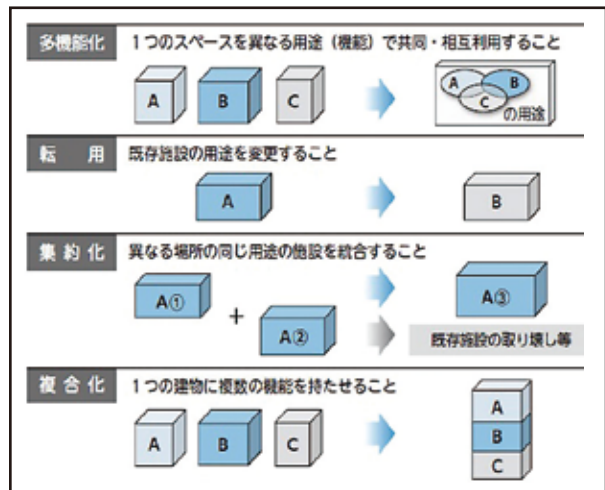
これからの公共施設のあり方

中津市では、持続可能な行政運営を実現するため、平成29年3月に「中津市公共施設管理プラン」を策定しました。このプランで、40年後の2055年度までに、市が所有する公共施設の延床面積を20%削減することを目標に掲げています。

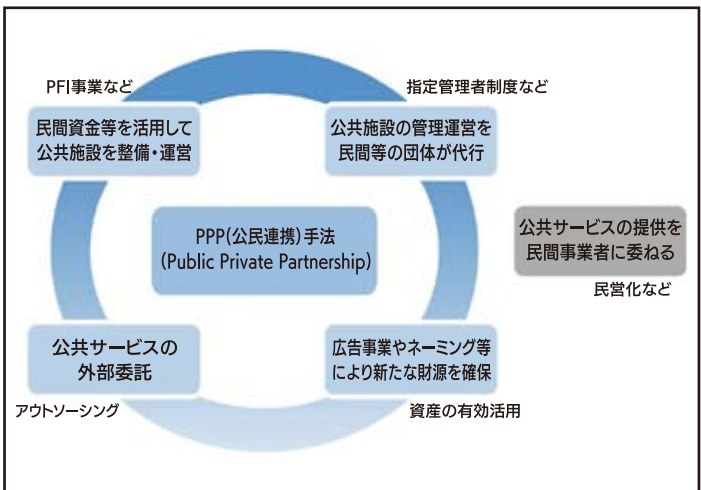
中津市では、次の3つの実施方針をもとに公共施設における行政サービスのあり方を見直し、次の世代に健全な資産として引き継いでいきます。

- ①施設総量の抑制（集約化や複合化など）
- ②施設の長寿命化（計画的な予防保全など）
- ③施設の効率的な運営（民間事業者の活用など）

■集約化・複合化とは



■民間事業者の活用とは



■問合せ 【財政状況】 財政課財政係（内線233） / 【公共施設】 行政経営改革室（内線275）